

科目名	助産学研究Ⅰ (Midwifery Research)			科目コード	S121
単位数	1単位	選択区分	必修	時間数	15時間
区分	助産学探究領域	履修時期	通年	関連DP	助①④⑥⑦
担当教員	今村 朋子、井上 明子				
授業概要	助産実践の諸現象を科学的に解明するための研究の意義や基本的手法について教授する。 実際に、継続事例研究論文の記述を段階的にすすめていくことで、対象に行った援助について研究的視点から考察を深めるプロセスの修得を目指す。このプロセスを通して、助産学研究Ⅱの事例研究論文の完成へとつなげていく。				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例研究の意義と研究方法について説明できる。</li> <li>2. 継続事例に対する援助の根拠となる文献を収集し、実践への活用について考えることができる。</li> <li>3. 研究計画を立案し、集中実習での継続事例への意図的な関わりにつなげることができる。</li> <li>4. 事例研究論文のテーマを焦点化し、中間発表で論文の方向性について述べるができる。</li> </ol>				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	事例研究とは テーマの焦点化	事例研究の意義 研究テーマの探し方、本当の疑問を持つには？ 先輩の研究プロセスの解説	今村朋子
2	文献検索演習	文献検索方法 テーマに関する文献の検索	図書館司書
3	論文作成のプロセス(1) 文献の活用	文献の吟味と実践への活用 根拠に基づいた実践と意図的なかかわり 論文執筆のルール(その1)	今村朋子 井上明子
4	論文作成のプロセス(2) 実践の記述	自己の援助の可視化 対象の反応を丁寧に捉える	今村朋子
5	論文作成のプロセス(3) 計画発表	仮テーマ、目的、事例要約、関連文献の発表 今後のデータ収集内容の明確化	今村朋子 井上明子
6	論文作成のプロセス(4) 事例研究論文のまとめに向けて	論文執筆のルール(その2)とスケジュール データ分析方法：分析によって深まる継続事例像 考察の方法：自己の考えを文献により深める意義	井上明子 今村朋子
7-8	論文作成のプロセス(5) 中間発表	事例研究論文の中間発表と検討	
成績評価方法		計画発表(30%)、中間発表(内容50%・ディスカッション20%)をもとに総合的に評価する。	
教科書		特に使用せず	
参考図書等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田裕子、「黒田裕子の看護研究 Step by Step」(医学書院)</li> <li>・松本孚、森田夏実「看護のための わかりやすいケーススタディの進め方」(照林社)</li> <li>・下山節子、江藤節代編「さあ！事例研究に挑戦しよう」(日本メディカルセンター)</li> </ul>	
授業時間外の学習について		文献検索や論文作成について、授業時間外の学習が必要となる。	
関連科目		117-118 助産学実習Ⅰ～Ⅱ ⇒本科目⇒ 122 助産学研究Ⅱ	
備考		※関連学習会の開催について 第1回授業の前に、「事例研究論文までの道のり」として、事例研究論文発表会でのプレゼンテーション内容について修了生から学ぶ学習会を企画しています。	